

歯科材料 05 歯科用接着充填材料 管理医療機器 歯科用象牙質接着材(42483002)

(歯科セラミックス用接着材料(70815000)、歯科金属用接着材料(70921000)、歯科レジン用接着材料(70816000)、
歯科接着・充填材料用表面硬化保護材(70858000)、歯科用知覚過敏抑制材料(70926000))

オールボンドユニバーサル

【禁忌・禁止】

本品又はメタクリル酸系のモノマーに対して、発疹・皮膚炎などの過敏症の既往歴がある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 本品の形状・性状、成分は以下に記載のとおり。

構成成分	形状	成分
ボトル	液状	ビスGMA、エタノール、HEMA、精製水、カンファキノン、他

付属品: なし

2. 原理:

光照射による光重合にて、レジンが硬化し皮膜を形成する。

【使用目的又は効果】

[使用目的]

象牙質を含む窩洞・欠損への接着に用いること。
歯科用セラミックスで作製した歯科修復物又は装置の接着に用いること。
金属製修復物又は装置の接着に用いること。
レジン系修復物の接着に用いること。
歯科接着・充填材料の表面の保護に用いること。
象牙質又は形成象牙質の知覚過敏の抑制に用いること。

[使用用途]

1. 直接法に使用される全ての修復材料(レジン系コンポジット、レジン強化型ガラスイオノマー、コア築造材料など)
2. 間接法に使用される全ての修復材料(メタル、ガラス系セラミックス、ジルコニア/アルミナ系セラミックス、など)
3. 知覚過敏抑制/歯面シール
4. 口腔内リペア(ポーセレン破折、直接法修復材への添加、など)
5. グラスイオノマー系充填材の表面保護

【使用方法等】

1. 直接法による修復

セルフエッチング法: 窩洞形成。水銃にて十分に洗浄。過剰な水分を、小綿球あるいは、1~2 秒間、強力吸引装置にて除去する(乾燥させないこと)。

注意: ビスコ社セレクトHVエッチ(別売)はカット、アンカットエナメルのエッチングに適用することで、接着強度を高めることができる。このエッチャントは、エッチング部位を正確にエッチングできる特徴を有する。

トータルエッチング法: 窩洞を形成。水銃にて十分に洗浄。エナメルとデンチンを15秒間エッチングする。十分に水洗する。過剰の水分を、小綿球あるいは、1~2秒間、強力吸引装置にて除去する。形成面には、目視にて確認できる程度の湿気を保持すること。

1. オールボンドユニバーサルを清浄な混和皿に1-2 滴採取する。滴下後、直ちに、ボトルのキャップを確実に締め、溶媒の揮散を防ぐこと。
2. オールボンドユニバーサルをマイクロブラシにて、10-15 秒間、擦り塗り。これを2 回行う。1 回目の塗布後、光重合をしないこと。

3. エアブローを10 秒以上行い、過剰の溶媒を確実に揮散させる。オールボンドユニバーサルの動きが無いことを目視にて確認すること。塗布面は、均質な滑沢面となっていること。このような状態が確認されない場合には、さらにもう1 層のオールボンドユニバーサルを塗布し、手順 2 と手順 3 を繰り返す。

4. 10 秒間(500mW/cm²)、光照射する。

5. 修復材を、製造者の指示に準じ、適用する。

2. 間接法による修復

患歯の準備

セルフエッチング法: 窩洞形成。水銃にて十分に洗浄。過剰な水分を、小綿球あるいは、1~2 秒間、強力吸引装置にて除去する(乾燥させないこと)。

注意: ビスコ社セレクトHVエッチ(別売)はカット、アンカットエナメルのエッチングに適用することで、接着強度を高めることができる。このエッチャントは、エッチング部位を正確にエッチングできる特徴を有する。

トータルエッチング法: 窩洞を形成。水銃にて十分に洗浄。エナメルとデンチンを15 秒間エッチングする。十分に水洗する。過剰の水分を、小綿球あるいは、1~2 秒間、強力吸引装置にて除去する。形成面には、目視にて確認できる程度の湿気を保持すること。

1. オールボンドユニバーサルを清浄な混和皿に1-2 滴採取する。滴下後、直ちに、ボトルのキャップを確実に締め、溶媒の揮散を防ぐこと。
2. オールボンドユニバーサルをマイクロブラシにて、10-15 秒間、擦り塗り。これを2 回行う。1 回目の塗布後、光重合をしないこと。

3. エアブローを10 秒以上行い、過剰の溶媒を確実に揮散させる。オールボンドユニバーサルの動きが無いことを目視にて確認すること。塗布面は、均質な滑沢面となっていること。このような状態が確認されない場合には、さ

らにもう1 層のオールボンドユニバーサルを塗布し、手順 2 と手順 3 を繰り返す。

注意: オールボンドユニバーサルは容易に薄く広がることから、修復物と歯の適合性が緊密であっても、合着処理に影響することはない。

4. 10 秒間(500mW/cm²)、光照射する。

5. 引き続き、合着材処置を行う。

注意: オールボンドユニバーサルは、ビスコ社製デュアル重合型、化学重合型コンポジットレジンやセメントと併用することで、最良の接着強度が得られる。

メタル、ジルコニア、アルミナ、コンポジット、ポスト処置におけるプライミング

1. 技工所や製造者の指示(例えば、サンドブラステイング)などに準じ、修復物表面を事前処理する。

注意: オールボンドユニバーサル塗布前に、リン酸を用いた表面洗浄は禁忌。

2. オールボンドユニバーサルを1 層塗布し、エアブローにて過剰の溶媒を揮散させる。10 秒間(500mW/cm²)光重合。

注意: 光重合が好ましくない場合には、オールボンドユニバーサルに代えて、ビスコ社ズプライムプラス(別売)を塗布のこと。

シリカ系ポーセレン、リチウムジシリケート処置におけるプライミング

1. 使用する材料ごとに前処理が異なることから、技工所や製造者に、修復物の適切な内面処理について確認のこと。

2. オールボンドユニバーサルを1 層塗布し、エアブローにて過剰の溶媒を揮散させる。10 秒間(500mW/cm²)光重合。

注意: 光重合が好ましくない場合には、シラン材(ビスコ社ポーセレンプライマー(別売))を使用のこと。シラン材の適用により、ガラス系セラミックスの場合、接着耐久性とともに、口腔内での長期維持が図られる(自社資料)。特に、ポーセレンベニアには、ビスコ社ポーセレンプライマー(別売)を適用のこと。

3. 知覚過敏抑制/歯面シール

a.) 形成歯面

セルフエッチング法: 窩洞形成。水銃にて十分に洗浄。過剰な水分を、小綿球あるいは、1~2 秒間、強力吸引装置にて除去する(乾燥させないこと)。

トータルエッチング法: 窩洞を形成。水銃にて十分に洗浄。エナメルとデンチンを15 秒間エッチングする。十分に水洗する。過剰の水分を、小綿球あるいは、1~2 秒間、強力吸引装置にて除去する。形成面には、目視にて確認できる程度の湿気を保持すること。

1. オールボンドユニバーサルを清浄な混和皿に1-2 滴採取する。滴下後、直ちに、ボトルのキャップを確実に締め、溶媒の揮散を防ぐこと。

2. オールボンドユニバーサルをマイクロブラシにて、10-15 秒間、擦り塗り。これを2 回行う。1 回目の塗布後、光重合をしないこと。

3. エアブローを10 秒以上行い、過剰の溶媒を確実に揮散させる。オールボンドユニバーサルの動きが無いことを目視にて確認すること。塗布面は、均質な滑沢面となっていること。このような状態が確認されない場合には、さらにもう1 層のオールボンドユニバーサルを塗布し、手順 2 と手順 3 を繰り返す。

4. 10 秒間(500mW/cm²)、光照射する。

5. 引き続き、暫間処置を行う。

b.) アンカット(未形成)歯面の処理:

1. 根面やアンカット歯面の清浄を、パミスの混合物などで行なう。

2. 微温湯にて洗浄し、小綿球にてブロッキングする。

3. オールボンドユニバーサルを清浄な混和皿に1-2 滴採取する。滴下後、直ちに、確実にキャップを締め、溶媒の揮散を防ぐこと。

4. オールボンドユニバーサルをマイクロブラシにて、10-15 秒間、擦り塗り。これを2 回行う。1 回目の塗布後、光重合をしないこと。

参考: 最初の処置に伴う冷刺激は、軽度の知覚過敏を誘発し易いが、オールボンドユニバーサルは、塗布後、速やかに歯質に浸透し、象牙細管を封鎖するので、以後はこのような知覚過敏が誘発されない。

5. エアブローを10 秒以上行い、過剰の溶媒を確実に揮散させる。オールボンドユニバーサルの動きが無いことを目視にて確認すること。塗布面は、均質な滑沢面となっていること。このような状態が確認されない場合には、さらにもう1 層のオールボンドユニバーサルを塗布し、手順 4 と手順 5 を繰り返す。

6. 10 秒間(500mW/cm²)、光照射する。

7. アルコールを染ませた綿球あるいはガーゼで、酸素未重合層を除去する。

4. 口腔内リペア(ポーセレン破折、直接法修復材への添加、など)

1. 防湿する。

2. リチウムジシリケートを含め全てのポーセレンの露出面を、フッ化水素酸にて、その製造者が指示した処理手順に準じ、処理する。次いで、シランプライマー(ビスコ社ポーセレンプライマー(別売))を塗布する。

- 注意:**メタルやジルコニアにビスコ社Zプライムプラス(別売)を適用する場合、オールボンドユニバーサルに先立って塗布処置すること。
- オールボンドユニバーサルを清浄な混和皿に1-2滴採取する。滴下後、直ちに、ボトルのキャップを確実に締め、溶媒の揮散を防ぐこと。
 - オールボンドユニバーサルをリペア部位に、1層塗布する。エアブローにて、過剰の溶媒を揮散させる。10秒間(500mW/cm²)光重合する。
 - メタルのマスクングが必要な場合には、オペカーを適用することで、好ましい色調にてリペアすることができる。
 - 引き続き、コンポジットレジンレアリングを行い、仕上げを行う。

5. グラスアイオノマー充填材の表面保護

グラスアイオノマー系セメント/修復材による修復処置後、直ちにオールボンドユニバーサルを処置することで、修復材の表面を湿気、乾燥、唾液との接触による汚染から保護することができる。

患歯の準備:

- 製造者の指示に準じ、グラスアイオノマー系セメント/修復材を処置する。
- オールボンドユニバーサルを清浄な混和皿に1-2滴採取する。滴下後、直ちに、ボトルのキャップを確実に締め、溶媒の揮散を防ぐこと。
- オールボンドユニバーサルをマイクロブラシにて、10-15秒間、擦り塗り、これを2回行う。1回目の塗布後、光重合をしないこと。
- エアブローを10秒以上行い、過剰の溶媒を確実に揮散させる。オールボンドユニバーサルの動きが無いことを目視にて確認すること。
- 10秒間(500mW/cm²)、光照射する。
- アルコールを染ませた綿球あるいはガーゼで、酸素未重合層を除去する。

【使用上の注意】

[使用注意]

- 感染予防のため、必ず保護グローブ等を使用のこと。
- 他の製品と混合して使用しないこと。
- 誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合には、うがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- 使用後の容器は、「廃棄物に関する法律」等に従い、適切に処理すること。
- 本品の処置前2~3週間内に、患部に酸化亜鉛ユーージノールを使用した場合には、本品の使用に先立ち、酸化亜鉛ユーージノールの影響を受けないよう、研削材等にて、十分な洗浄を行うこと。
- 本品は容器の蓋を取ったままで置かないこと。使用後は必ずキャップを確実に閉めて保管のこと。
- 本品は窓際又はライト直下等、明るい場所で硬化することがあるので、強い光の当たらない場所で使用のこと。
- 本品は、光重合型接着材である。ミキシングウェルに採取した後、直ちに、使用すること。空気や周囲光に暴露したまま、時間が経過すると、溶媒が揮散し、粘度が上がる状態となる。
- 光照射器の光強度が弱い場合には、接着効果が減弱する。
- 外注技工物の場合には、被着面の処理内容を技工所に確認後、所要の処理を行うこと。

[重要な基本的注意]

- 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が表れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が表れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 本品の接触による過敏症を防ぐため、保護グローブ、保護メガネ、保護マスク等を使用すること。
- 本品を口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。軟組織や皮膚に付着した場合は、すぐに多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合はすぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。
- エッチング材に含まれるリン酸は、目や皮膚に触れると炎症をもたらす。このようなエッチング材が皮膚や粘膜に触れた場合、速やかに対処しないことにより、損傷を生じることがある。万が一、目に入った場合は直ちに多量の流水で洗浄し、直ちに医師の診断を受けること。目を除く組織に触れた場合には、直ちに多量の流水で、数分間洗浄すること。
- 唾液との接触等による汚染で、デンチン接着強度が低下し、修復物の維持を妨げる。直接修復法のみならず、他の適用においても、ラバーダムを使用のこと。
- 本品は可燃性物質であるエタノールを含むので、火気の近くで使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

* [保管方法]

- 直射日光、高温多湿を避け2~25°Cの暗所に保管すること。
- 歯科の従事者以外が触れないように、適切に保管・管理すること。

[使用期限等]

- 構成品の包装に記載の使用期限までに使用すること。
- 記載の使用期限は、自己認証(当社データ)による。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	**株式会社モリムラ
電話番号	**03-5808-9350
製造業者	BISCO, Inc. (ビスコ インク社)
製造国	アメリカ合衆国